

アッシュヤーズ・ウエルの女

- 1 アッシュヤーズ・ウエルに ひとりの女が住んでいました
それはお金持の女です
女には三人の強いしよぶな息子がいました
三人とも海へ乗り出して行ったのです
- 2 息子たちが母と別れて一週間
一週間とたたない頃
老いた母に便りが届きました
三人の息子が行方不明になったという
- 3 息子たちが母と別れて一週間
三週間とたたない頃
老いた母に便りが届きました
息子たちにはもう会えないという
- 4 「息子たちがつつがなく
家に戻ってくるまでは
風よ止むな
海に嵐よ起これ」
- 5 聖マーティン祭の頃でした
夜は長く暗かった
三人の息子が帰ってきました
樺^{かば}の木皮の帽子をかぶって
- 6 樺^{かば}の木は溝や堀には生えませんが
沼にもそれは生えませんが
天国の入口にだけ
樺^{かば}は美しく生えるのです
- 7 「火をおこしなさい 侍女^{おまえ}たち
井戸から水を汲んでおいで
今夜は家中お祝いよ
息子が元気に帰ってきたの」
- 8 母は三人の息子に床をのべてやりました
大きく広くのべました

それからマントをくるりとかぶり
三人の寢床のそばにすわりました

9 赤い赤いおんどりがこけこっこうと鳴きました
灰色のおんどりがこけこっこうと鳴きました
兄が弟にいいました
「行かねばならぬときがきた」

10 おんどりがひと声鳴いて
一度にぱつと羽ばたいたとき
弟が兄にいいました
「兄さん 行かねばなりません

11 「おんどりが鳴きます 夜があけます
ぶつぶつ地虫がこぼしている
ぼくら 土のお墓に帰らないと
とてもひどい目に会わされる

12 「さようなら やさしいお母さん
さようなら 納屋なやと牛小屋
さようなら かまどの火を燃もす
かわいい娘」

(薮下卓郎訳)